

筑波大学アスレチックデパートメントとの協定締結と連携した取組みについて

生涯学習・スポーツ課

1 協定の背景

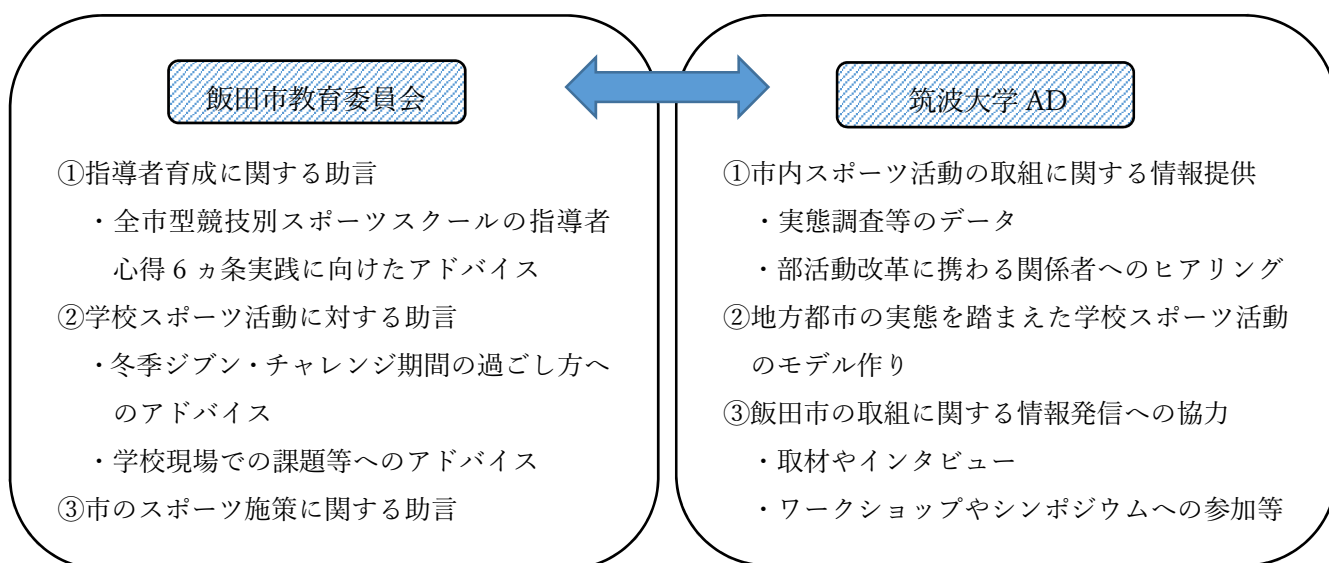
飯田市は、市内のスポーツ活動の実態を踏まえた上で、子どもの発達段階に応じたより良いスポーツ環境づくりを推進するために、大学の専門的な知見に基づく助言を求め、筑波大学アスレチックデパートメントは、飯田市における部活動改革の学術的研究の実施、及び地域に根ざした健全な学校スポーツ活動のモデルを飯田市とともに開発していききたいとの考えから今回の協定に至った。

2 協定締結日 令和3年9月1日

3 協定の概要

- (1) 目的 スポーツ振興に関するさまざまな分野で相互に協力し、学校及び地域におけるスポーツ活動の充実・発展に寄与すること。
- (2) 連携事項 (ア) スポーツの各分野における調査・研究に関すること
(イ) 中学生期における適正なスポーツ活動及び生涯スポーツの推進に関すること
(ウ) スポーツ指導者の資質向上に関すること

新しい時代における、健全なスポーツ活動の事例をともにつくっていく



※筑波大学アスレチックデパートメントは、この協定の成果を全国の教育機関に広く発信していくことで、スポーツ活動のさらなる健全化に貢献していきたいと考えている。

4 令和3年度の具体的な取組み

(1) 「冬季ジブン・チャレンジ期間」*1 特別授業の実施 ※令和3年11月実施

【目的】

中学生が、具体的な目標や行動計画を立て、自分のやりたいことや伸ばしたいことへの主体的なチャレンジを応援する。

*1「冬季ジブン・チャレンジ期間」とは

完全下校が早まる冬季（概ね11月～1月）の放課後の部活動を行わない期間を、「冬季ジブン・チャレンジ期間」と位置づけ、「自分のやりたいこと、伸ばしたいことに挑戦する期間」としました。令和2年度「部活動オフ期間」から変更

【実施内容】

- ・冬季ジブン・チャレンジ期間の目標とアクションプランの設定（50分授業）
- ・振り返り（特別活動）
9中学校のうち3校（飯田東中学校、飯田西中学校、竜東中学校）で実施
※ワークシートを活用し、具体的な目標を立て振り返りができるよう助言

【検証】

- ・アンケート調査で、実施校、未実施校の違いを明らかにして成果を検証

(2) 指導的立場にある方を対象とした研修会の開催 ※令和4年1月以降に計画

【対象】

- ・全市型競技別スポーツスクール競技団体代表者、各中学校長、下伊那体育研究会等

【内容】

- ・スポーツの持つ教育的な意義、指導者に求められるスキルや指導のあり方

(3) 現場の指導者、保護者を対象とした研修会の開催 ※実施に向けて協議中

- ①部活動や全市型競技別スポーツスクールの6か条理念に基づく指導の実践に向けたワークショップ
- ②保護者を対象にした研修会 ジュニア期の適切なスポーツ活動のあり方への理解を深めていく

(4) 全市型競技別スポーツスクールPR動画の制作 ※令和3年12月

- ・バレー、サッカー、バスケット、弓道等の参加生徒や指導者、保護者への取材による動画を作成し、スポーツスクールの様子を可視化し、参加促進のための広報に活用
- ・PR動画を活用して、生徒の「自分もやってみよう」という挑戦を応援